



# 鹿田小だより



元気いっぱい 勉強こつこつ 親切ハートの  
岡山市立鹿田小学校



令和2年度 第21号 3月25日



## 1年間、ありがとうございました。

3月23日(火)6年生が卒業しました。昨年度からの新型コロナウイルス感染症の影響で、当初の予定より6日遅い卒業式となりました。昨年同様、来賓の方々や在校生のいない卒業式となりましたが、子どもたちは堂々と胸を張り、前を向いて卒業していきました。鹿田小学校の127年という長い歴史の中で、卒業した児童は今年で19,113名。多くの卒業生が引き継いできた鹿田小学校の伝統を受け継ぎ、最高学年としていつも先頭に立ってよく頑張ってくれました。卒業式では校長から、「4月からは中学生として、周りの人には思いやりの心をもってかかわること、いつもその時その時のベストを尽くそうと努力すること、この二つを忘れないで、自分の夢や希望の実現に向かって、力強く進んでほしい。」という話をしました。

昨年度から続いた新型コロナウイルス感染症のため、今年度も多くの制限のある中での学校生活となりました。子どもたちにとっても、また保護者の皆様にとっても、不安や負担の大きな1年間でした。そのような中でも、子どもたちが元気に明るく学校生活を送り、いろいろな行事が実施できたのは、保護者の皆様や地域の皆様の、ご理解ご協力によるものと感謝しております。ありがとうございました。明日からは春休みです。4月からは新しい教室で、新しい友達や先生との学校生活が始まります。それまで、元気に過ごしてほしいと思います。



### 一番楽しかったことランキング～ベスト5～

今年も子どもたちに「今の学年で一番楽しかったこと」を書いてもらいました。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、できなかった学校行事が多かったのですが、運動会や校外学習などを楽しかったと感じてくれていてよかったです。休み時間に友達と「遊んだこと」がどの学年でも上位に入っています。やはり友達の力というのは大きいですね。

#### 1 各学年の一番の思い出

【1年生】

第5位…むかしあそび(10人)

第4位…うんどう会(11人)

第3位…体いく(19人)

第2位…校がい学しゅう(31人)

第1位…あそんだこと(59人)

#### 1 各学年の一番の思い出

【2年生】

第5位…お楽しみ会(7人)

第4位…勉強(9人)

第3位…運動会(19人)

第2位…あそんだこと(38人)

第1位…校外学習(46人)

#### 1 各学年の一番の思い出

【3年生】

第5位…百人一首(9人)

第5位…お楽しみ会(9人)

第3位…遊んだこと(21人)

第2位…運動会(27人)

第1位…校外学習(32人)

#### 1 各学年の一番の思い出

【4年生】

第5位…友達できた(5人)

第4位…勉強(6人)

第3位…運動会(10人)

第2位…遊んだこと(29人)

第1位…山の学校(75人)

#### 1 各学年の一番の思い出

【5年生】

第5位…友達と話す(8人)

第5位…かえで学習(8人)

第3位…運動会(17人)

第2位…遊んだこと(37人)

第1位…海の学校(54人)

### 学習風景 ～みんながんばりました～

3月も子どもたちはいろいろな学習に取り組みました。1年生はアサガオに続いてビオラとチューリップ、1年を通じて花を育てました。2年生は1年間の楽しかった思い出を袋にたくさん描きました。3年生はそろばん。玉の動かし方は難しかったのですが、楽しく学習できました。4年生は1年間に学んだことを生かして「歩み」と書きました。5年生は新しく導入されたパソコンの使い方を教えてもらいました。4月からは本格的に授業で使用します。

1年 ビオラの観察



2年 作品袋づくり



3年 そろばん



4年 書写



5年 GIGA スクール



### 令和3年度にがんばりたいこと～ベスト5～

来年度鹿田小学校のみんなで頑張りたいことを考えてもらいました。昨年度から私が特に力を入れている、「給食完食」「あいさつリーダー」「くつそろえ」が上位に入っていて、子どもたちも意識して取り組んでくれているんだなあとうれしくなりました。第4位に「勉強」が入ってくるあたり、さすが鹿田っ子です。また、「みんなが笑顔でいられるように」「低学年の役に立ちたい」などの意見もあり感心しました。

子どもたちの意見を参考に、来年度全校のみんなで頑張ることを決め、4月7日の始業式で発表する予定です。

#### 2 みんなでがんばること

【全校】

第5位…そうじ(48人)

第4位…べんきょう(72人)

第3位…きゅうしょく(77人)

第2位…あいさつ(100人)

第1位…くつそろえ(281人)

### 学校長のつぶやき ～おどしの育児～

「おどしの育児」と聞いてドキッとしませんか？先日聴いたラジオでの話題です。「言うこと聞かんと、鬼が来るよ！」このセリフは昔から言われ続けていますが、本当に鬼が画面に出てきて、怖い顔と声で親の言うことを聞くように子どもに向かって話をする、そんなアプリもあるそうです。鬼の力を借りないまでも、「おもちゃ片付けなかったら、捨てるよ！」「早う宿題せんと、おやつ食べさせんよ！」などは、もしかしたら皆さんも言ったことがあるのではないのでしょうか。このように、子どもに恐怖心を与えて、親の言うことを聞かせるしつけの仕方を、「おどしの育児」というのだそうです。この「おどしの育児」は効果できめんで、鬼のアプリを1回見せるだけで、親の言うことに素直に従うようになる子もいるそうです。しかし、本当にそれでよいのでしょうか。「しつけ」というのは、親に従順な子どもにすることではなく、子どもがその時々で自分で考え、正しく判断し、行動できるようにすることです。怖いことから逃げるためにただ親に従っただけでは、子どもが自分で考えて行動するようにはなりません。怖さではなく、「なぜそれをしなければならぬか？」という理由を教えることが必要なのだと思います。忙しい子育ての中、余裕のない中ではありますが、なぜそうしてほしいのか、理由を話してあげてほしいです。「おどしの育児」を続けたことで、自己肯定感を失ったり、消極的になったり、一人になることを極端に恐れたり、不登校になったりした子どももいるそうです。子どもの長い将来を考えると、よいことは何も無いように思います。

